

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	－	－
	○	百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルス感染症がこのままの状態であれば、消費マインドの安定とともに景気が回復していくと思われるが、今後、県内の感染者数が増加すれば再び悪化が予想される。正に新型コロナウイルス次第といった印象で先行きがみえない。
	○	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、3か月前は最悪の状態であったが、今後は多少なりとも良くなるのではないかと予想している。
	○	一般レストラン（経営者）	・首都圏や大都市で新型コロナウイルスの感染が拡大しており、地方へも広がるおそれがある。第2波による自粛が始まれば、最初の自粛時期より苦しくなることは確実であり、絶対に避けなければならない。このまま順調に平常時に戻ることを祈るのみである。
	○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスが一定の収束をみせ、下げ止まりから少し戻ると予想する。
	○	旅行代理店（営業担当）	・日々感染者数が増加しているため、今後の大幅な受注拡大は見込めないが、少しずつ動き出す様子はいかがえる。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が継続しており、現在の状態で推移していくと思われる。
	□	商店街（代表者）	・都市部を中心に新型コロナウイルスの感染が拡大し、第2波が予想される事態になっている。景気は低下したまま推移し、消費も頭打ちになると予想される。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・繁華街の店舗のイベントが縮小、又はなくなっているため、業者に大量の注文が入らない状態がこれからも当分続いていく。必要最低限の個人の予約が中心になってきている。
	□	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り変わらない。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息し、生活様式が以前の状態に戻らない限り、今の状況が継続すると考えている。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響による不況が到来すると思ったが、意外と客は持ちこたえているように感じる。災害による青果物の相場高もあり、今のような状況が当分続くことが予想される。
	□	スーパー（企画担当）	・遅れていた学校の夏休みが開始し、8月に入ってから家庭内での食事機会が増えることになるので、再度買上単価の上昇が起きると推定する。
	□	スーパー（人事）	・地方への影響は表面的にはないように思われるが、感染拡大の具合によっては悪くなることは間違いないと考えている。
	□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染に過剰反応が起きており、弱アクセルと急ブレーキの繰り返しである。今後も状況は良くはならないと考えている。
	□	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスの影響は今後も続くと思われる。売上が前年並みに回復するのはいまだみえない状態であり、景気回復の兆しも全くみえていない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が再度増加しており、以前ほど悪い状態にはならないにしろ、このままの状態が続くのではないかと予想する。新型コロナウイルスの影響次第である。
	□	衣料品専門店（経営者）	・長かった梅雨も明け、7月はある程度売上が回復すると思われるが、新型コロナウイルスの感染者数も再度増加しており、全体的に動きが萎縮することが予想される。当県の場合は感染者数が比較的少ないため、極端な景気の後退はないと思うが、拡大は厳しいと感じる。
	□	家電量販店（副店長）	・毎日、新型コロナウイルス感染症の第2波について報道されているが、客の来店状況は悪化しておらず徐々に回復しつつある。
□	乗用車販売業（営業担当）	・自社で開催しているキャンペーンが9月末までなので、新型コロナウイルスの影響次第では、今後状況が悪化する可能性も高くなる。	

□	乗用車販売店（従業員）	・自動車の受注は良くなってきているが、点検や整備は現状維持が続いている。
□	乗用車販売店（従業員）	・地方なので新型コロナウイルスの感染を怖がる人が多く、人の動きが鈍い。
□	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの終息が読めない状況では先行きも見通せない。
□	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長引くことで、個人所得は減り、個人消費も落ち込むと考えている。
□	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスが落ち着かなければ経済は回らない。
□	タクシー運転手	・7月に入ってからGo To Travelキャンペーンが開始され、全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加している。県内では感染者数はさほど増加していないが、委縮している人が多い。売上は前年比50%くらいで、2～3か月先もこのままの状態が続くと考える。
□	通信会社（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響は一旦収まってきたが、長期的には家計節約の動きに影響され、買換えサイクルの長期化等で売上が微減になると推測する。
□	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くと予想する。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの第2波の影響もあり客の動向が読めない。タブレット需要も高まっているが商材の供給が安定せず対応が難しい。
□	競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染状況が再度悪化しており、経済活動と感染防止対策の同時推進の観点から、新型コロナウイルスが今後収束する見込みは薄い。今も客の自粛意識が高いことに加え、行政から自粛を要請されることも考えられるため、今後も状況は変わらないと予想される。
▲	商店街（事務局長）	・ウィズコロナの生活を店舗事業者や消費者は受け入れざるを得ず、ワクチンが広く普及するまでの今後数年間は、事業者も従来の売上や来客数は確保できないと覚悟している。しかし一方で、ウィズコロナの時代に適した商品開発やサービスの在り方を模索する、前向きで意欲的な事業者もみられ、刺激にもなっている。
▲	スーパー（財務担当）	・雇用環境の悪化や収入の減少が、個人消費に悪影響を及ぼしている。
▲	コンビニ（商品担当）	・新型コロナウイルスの第2波の影響で、デリバリーや通販などに需要が移行するとみている。
▲	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染防止のために在宅勤務等が始まったことにより、前倒しで家電の買換えが進んだ結果、その反動で今後は販売が低迷すると予想される。
▲	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び全国的に増加傾向にあるため、このまま景気が回復するとは考えられない。
▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	・5～6月は、新型コロナウイルスの影響で少し売上が良かったが、今は少し悪くなってきている。
▲	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・新型コロナウイルスが終息するまでは、良くなるとはとても思えない状態である。
▲	通信会社社員	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるため、プッシュ販売に再度制約が掛かるおそれがある。
▲	美容室（経営者）	・今は新型コロナウイルスの影響で店に来られなかった客が動いている。7月の連休とお盆休みで感染者数が増加するとまた来客数は減少するのではないかと考える。
▲	設計事務所（所長）	・都市部との往来に再度影響が出始めており、仕事上でも問題が出てくることが予想される。
×	商店街（代表者）	・閉店する核店舗の再生計画は全く進んでいない。地方都市の核店舗閉店に対応する新たな核施設の創設などは現在の経済情勢の下では思い付かない。
×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、状況は更に悪化している。人々が外出を自粛していることで来客数は減少しており、今のところ先が読めない状況である。
×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・7月下旬から新型コロナウイルス感染者数の増加が顕著なので、この先は更に人出が少なくなり、外食産業は不景気になる。いつまで耐えればいいのか分からない状況である。
×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染者の増加に歯止めが掛からず、再び4～5月のような状況か、それ以上の業況悪化が懸念される。

	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で経済が停滞している。
	×	タクシー運転手	・本来であればこれからの秋の時期は四国八十八箇所参りの仕事が入るが、全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加しているため、多くのキャンセルが予想される。今は昼も夜も何となく人出が少ないように感じるため、明るい兆しがなく不安である。
	×	美容室（経営者）	・客も店舗も新型コロナウイルスの感染を考えると、リスクが高い通常営業は自粛せざるを得ないと考えている。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌ウェットクリーナーの受注が増加している。アルコールの仕入制限があり、増産は余りでできていないが今後も売行きは好調と考えられる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・特殊なバイオマスの発電事業を近々受注予定であり、今後も改めて再生可能エネルギーが見直され、重要視されていくことが予想される。
	□	食料品製造業（経営者）	・このところ都市部で新型コロナウイルスの感染者が増加してきており、外食需要の減少が懸念され、その販路に対する売上低迷が予想される。
	□	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの感染が再拡大しており先が見通せない。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの第2波と思われる感染者数の増加により、外出の再自粛の可能性が高まっている。
	□	建設業（経営者）	・官民とも発注の見通しが悪い状況である。
	□	輸送業（経営者）	・このまま悪い状態が続くと予想される。
	□	輸送業（営業）	・景気再興施策として実施されているGo To Travelキャンペーンの推進が、更なる新型コロナウイルス感染症の感染拡大を誘発するのではないかと危惧する声が多く聞かれるなか、消費増大につながる動きは鈍化したままの状況が続くと推察しており、取扱物量の増加についての期待は薄い。治療薬やワクチンの開発がなされない限り消費者の不安要素が払拭されることはなく、当面の間は経済の回復による景気の好転は望めないと推察される。
	□	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響は2～3か月後も続くことが予想される。景気回復策も実行されてはいるが、プラスマイナスゼロで変わりがないと考えている。
	□	通信業（企画・売上管理）	・新型コロナウイルスの終息が見通せない。
	□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数がまた増加傾向となり、販売促進広告の復活傾向がストップした。年内のイベント中止や販売促進広告の自粛が継続される見込みであるため、今後も厳しい状況が予想される。
	□	税理士事務所	・新型コロナウイルスの第2波が懸念されており、それにより売上が完全に戻るとは思えない状態である。
	▲	繊維工業（経営者）	・7月も6月同様、前年並みを維持できているが、新型コロナウイルスの再拡大により、小売店の経営が破綻し、閉鎖するところも出てきそうである。国の支援もいつまでも続けるわけにもいかず、国内経済全体も先行きは厳しくなりそうである。
	▲	輸送業（経理）	・新型コロナウイルスの第2波が全国に拡大しつつあるため、経済を優先する行政の今後の動きが読めない状態となっている。再度活動自粛となった場合、国内物流における生活必需品需要は拡大すると予想されるが、国際物流の輸出入については低迷していくと思われる。
	×	農林水産業（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策が不十分かつ感染拡大を助長するような施策がとられている。現在、地方の感染者は少ないが、都市部からの流入は確実であり、日本全国で第2波に見舞われることが推測される。田舎ほど風評被害が発生しやすいことから、都会の流儀で政策を進めることを懸念する人は少なくないと予想される。安心安全な農産物の食糧基地は田舎であり、消費地の人がこれを脅かす行為や施策は禁じ手と考えている。
×	木材木製品製造業（営業部長）	・新型コロナウイルスの影響が本格的に出てくるとみている。第2波の影響で景気がどこまで悪くなるかは不透明であるが、改善することはないと考えている。	

	×	鉄鋼業（総務部長）	・船舶は年内受注は確保されているが、来年度以降は不明である。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の低迷、点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が今後も増加すると予想される。医療体制や感染防止の施策が十分とはいえないことが要因であり、企業、団体、個人レベルで活動を縮小せざるを得ず、経済活動はますます制約されると考える。この先、現下の国や自治体の施策のままでは安心安全が担保できず、景気が良くなる要素が見当たらない。
	×	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの第2波が本格化しており、再度景気の悪化が予想される。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	—	—
	□	求人情報誌製作会社（従業員）	・新型コロナウイルスへの対応に慎重な企業が多く、すぐに採用を増やす企業が増えてくるとは考えにくい。
	□	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所から雇用調整助成金の相談が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。緊急事態宣言が解除となり、県外への移動も可能になっているが、感染者は増加傾向にあり、景気は改善も悪化もしないという状況がしばらく継続すると考えている。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスが終息する兆しがなく、現状が続くことが予想される。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、新規求人に積極的な業界が見当たらない。
	▲	人材派遣会社（営業）	・夏休みの期間が短くなり、例年の繁忙期と比べて厳しい夏を迎えることになる。従来の繁忙期対応による雇用が減り、3密回避のため夏祭りや花火大会、コンサートなどのイベント開催の自粛も重なり、厳しい景気となる見込みである。
	▲	求人情報誌（営業）	・新型コロナウイルスの根本的な解決策がない以上、各業種での景気落ち込みの回復は難しい。Go To Travelキャンペーン等で一時的には回復するかもしれないが、先がみえないため景気対策としては懐疑的と考える企業が多い。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの第2波が更に拡大し、秋に向けて準備中のイベントも開催が危ぶまれる状況である。
	▲	職業安定所（職員）	・大卒や専門学校等の内定率が前年に比べ低下している。新型コロナウイルスの影響を受け、特にホテル業に絡んだ調理や接客等の求人が今年度は出ておらず、学生にとって就職活動が厳しいものとなっている。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染者数は収束に向けて減少するどころか増加の一途をたどっている。感染拡大の先行きは極めて不透明であり、その影響が計り知れない。
		×	人材派遣会社（営業担当）